

川西市子ども・子育て計画(案)に係る意見提出手続き結果 主立った意見の内容と市の検討結果

番号	意見の分類	主立った意見の内容(要旨)	市の検討結果
1	待機児童の解消・民間保育施設整備	待機児童の解消に向け、具体的な解決策をとってほしい。 施設の数減らすことで待機児童の解消が図れるのか。	緑台中学校区に民間認可保育所等を誘致するなど、保育に係る受入定員の拡大を図り、待機児童については、平成29年度までに解消をめざしていきます。
2	市立幼稚園・保育所の存続	市立保育所・幼稚園をなくさないでほしい。 保育所、幼稚園は本来違うものであり、それぞれの良さがあるので、その維持が望ましい。 市立保育所をほぼ全廃することに反対する。 市立幼稚園は、3歳児保育や給食を実施するなど、利用児童数を増やす努力をし、地域から市立幼稚園をなくさないでほしい。	この度の再編・一体化事業計画は、市立幼稚園児の減少や保育所待機児童の増加、施設の老朽化への対応や耐震対策の実施など、市立幼稚園や保育所が抱える課題の解決を図りつつ、子ども達にとってより良い教育・保育環境を提供しようとするものです。新しい施設は市が直接運営し、市立幼稚園と保育所の良さを引き継いでいきます。
3	認定こども園に反対	市立幼稚園と保育所を一体化してしまうのは、子どもや保護者の立場に立っていない机上の論理である。 午睡の有無、給食の有無、夏休みなどの有無等の違いがあり、子ども達も混乱してしまうのではないかと。 認定こども園に移行するデメリットも明確でなければメリットも明確でない。	幼保連携型の認定こども園は、幼稚園や保育所の機能をあわせ持ち、保護者の就労状況等によらず教育・保育を提供することができる施設です。新しい施設は市が直接運営し、市立幼稚園と保育所の良さを引き継いでいきます。
4	子育て支援施策への取り組み	未来を担う子供達のためにより良い保育、子育て支援の充実を図り、少子化に歯止めをかけるべきではないか。	子ども・子育て計画を推進することで、総合的、計画的に子育て支援施策の充実を図ってまいります。
5	策定過程	川西市子ども・子育て会議では、認定こども園について、ほとんど議論されていない。	市立幼稚園と保育所のあり方について、子ども・子育て会議では、4回ご審議をいただき、一定のご協議をいただいたものと考えております。 そのご議論を踏まえ、計画案を作成し、この度のパブリックコメントを実施させていただいているものと考えております。

番号	意見の分類	主立った意見の内容(要旨)	市の検討結果
6	計画策定に関する 周知	計画(案)について、在園児や入園(所)希望児の保護者、一般市民にも丁寧な説明が必要である。施設を利用する人たちの思いを一番に十分に検討してほしい。 計画の進捗状況についても市民に明らかにしてほしい。	パブリックコメントのPRについては、広報誌やホームページに掲載するほか、市内の保育所や幼稚園に計画案を配置し、説明会を開催するなど周知を図ってきました。 また、「きんたくんねっと」利用者へのメール配信や保健センターでの検診、プレイルームでのチラシの配付などPRに努力してきたところです。 さらに、保育所等への入所申請した方にも、郵送で再編・一体化事業計画についてお知らせしています。 今後とも、関係者へのご説明など、ご理解をいただきつつ推進してまいりたいと考えています。
7	移転後の通園	施設が集約、移転となれば、送迎の距離が長くなり、結果的に、保護者の毎日の負担が増えることになる。駅へのアクセスなど、利便性も重視して欲しい。	幼稚園と保育所の再編・一体化により、ご自宅等からの距離が遠くなる方については、ご不便をおかけすることとなります。 この課題については、車や自転車での送迎や必要な駐車スペースの設置と安全確保のための対策、転所希望の優先など、極力ご負担が軽減できるような方策を検討します。
8	通園時の安全対策	小学校の敷地内や隣接地に認定こども園ができると、園児の保護者の車での送迎が小学校の登校時刻と重なり、事故の危険性が高まる。	交通安全対策には十分配慮してまいります。
9	長時間・短時間 利用児童の教育・ 保育内容	短時間利用児童には夏休みなどの長期休業期間がある。また、午後には短時間利用児童は帰ってしまう。このため、長時間利用児童が過ごす時間は、単なる預かるだけの保育となってしまう恐れが高い。	長期休業期間や午後からの保育についても、保育計画を定め、しっかりと保育を行います。 長期休業期間や短時間利用児が帰宅した後の保育については、認定こども園の先進事例も全国に多数あり、これらを参考にしながらより良い教育・保育の提供を行ってまいりたいと考えています。

番号	意見の分類	主立った意見の内容(要旨)	市の検討結果
10	一人ひとりへの質の高い教育・保育の提供	現在、市立幼稚園・保育所で取り組まれている少人数できめ細やかな教育・保育がなくなってしまうようで非常に不安。きめ細やかな教育・保育は入所児童（定員）の少ない、各地域にある幼稚園・保育所でこそできることである。	保育教諭については、現在の市立園での、保育士・教諭の配置状況に準じて配置してまいりますので、児童数が多くなれば、それに応じて職員も適正に配置してまいります。
11	認定こども園の教育・保育内容	<p>保育所・幼稚園はそれぞれ役割が違うにもかかわらず、それを一体化してしまうとそれぞれの良いところが消えてしまう。特に、乳児の保育など軽視されてしまうのではないか。</p> <p>保育所で経験していること（時間をかけて一つのものを作り上げることや給食の手伝い、散歩等）を幼稚園と一体化しても行うことができるのか？</p> <p>幼稚園・保育所の良いところを合わせると言われるが、実際の内容が見えず不安。子どもを預ける親としては建物よりも教育・保育の具体的な内容の方を知りたい。</p> <p>様々な行事の数を減らさないで欲しい。</p>	<p>認定こども園の先進事例は全国に多数あり、これらを参考にしながらより良い教育・保育の提供を行ってまいります。</p> <p>また、市では、幼稚園教諭や保育士、その他の関係者で構成する検討会議を設置しており、ご指摘の点を踏まえつつ、この会議において、施設運営の具体的な体制や教育・保育のプログラム等について検討し、「子どもの最善の利益」を具現化できるよう努力してまいります。</p>
12	小1プロブレムの解消	大きな集団が4・5歳児に良いとは限らない。幼児期の大切な時期に「就学に備えた適正な規模の集団形成」という言葉で子どもたちをしばってほしくない。むしろ、小1問題を解決するには少人数のきめ細やかな保育が求められている。	集団で育つことの必要性を考えますと一定規模の児童数が必要であると考えています。また、異年齢保育や小学校との交流につきましても、積極的に取り組んでいきたいと考えています。
13	給食・食育の提供	現在、保育所で提供されている手作りの給食は安心であり、アレルギーや食育にも丁寧に対応してくれている。これを続けてほしい。給食は自園調理ですること。	認定こども園においては、自園で調理した給食を提供し、これまでの市立保育所と同様に、安全で美味しい給食を提供するとともに、食育の取り組みを進めて参ります。

番号	意見の分類	主立った意見の内容(要旨)	市の検討結果
14	川西中学校区幼・保一体化施設整備事業	<p>川西北保育所、川西中央保育所、小戸保育所、川西北幼稚園では、広範囲の子どもを保育・教育している。一体化により、それが1つの場所となると送迎が大変になる。</p> <p>300名定員という規模になると、子どもの生活空間(室内・園庭)の広さや教育・保育の質は守られるのか。</p> <p>認定こども園の最低基準に合わせるのではなく、川西の保育所などで守ってきた基準以上の水準を求める。この地区の一体化については、小学校区がまたがり過ぎている。小戸保育所は川西小学校区、川西中央保育所は所在地は北小校区だが、桜が丘小学校に一番近い保育所で、桜が丘小学校に行く子が一番多い。組み合わせも含めて、考え直してほしい。</p>	<p>川西中学校区の市立幼・保一体化施設整備事業につきましては、ご意見を踏まえ、事業概要を「川西北幼稚園、川西幼稚園、川西北保育所、小戸保育所、川西中央保育所、川西保育所について、規模や立地等を踏まえ、適正な再配置プランを検討し、実施環境が整い次第、速やかに事業化を図ります。」に改め、川西幼稚園・川西保育所を含め、川西中学校区の市立幼稚園・保育所の再編・一体化について見直すこととします。</p>
15	緑台中学校区民間保育所等整備事業	<p>近隣の私立幼稚園が2か所あることから、廃園の案があがっているが、市立幼稚園と私立幼稚園の役割や立場は全く違う。廃園になり、緑台中学校区内に幼児教育を担う公の施設がなくなるが、校区内で公が担ってきた役割を、今後、どう担うのか具体的に決めているのか。</p> <p>廃園後の緑台中学校区の市立幼稚園の園区は、多田幼稚園を検討されているようだが、今の園区から多田幼稚園に通園するのは無理と考えられる。</p> <p>園児数を増やす方法は考えないのか？</p> <p>民間の誘致が決まらなくても廃園だけが決まっている。民間園の設置場所、事業者が決まってから、廃園にして欲しい。</p> <p>廃園には反対である。</p>	<p>緑台中学校区に民間の保育所または幼保連携型認定こども園を誘致する方向で検討を進めています。松風幼稚園については、入園する児童数の維持が極めて難しいため、廃園することとしていますが、その時期につきましては、市の施策全体と整合を図りつつ、保護者のご意向や地元の方々のご意見、民間保育所等の整備状況なども踏まえ、適切な時期を検討してまいります。</p>